

おかげさまで90年



平成23年3月期 決算説明会



株式会社 立花エレテック

TACHIBANA ELETECH

東証・大証1部 8159

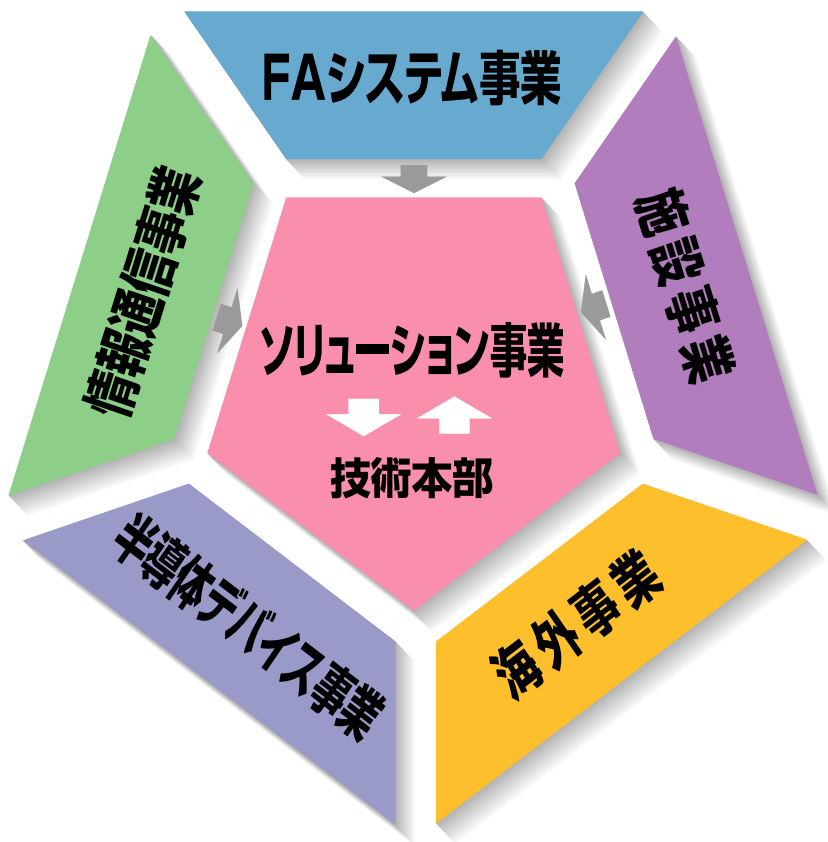
2011年5月23日

会社概要

社名	株式会社 立花エレクトック 証券コード 8159 (東証・大証第1部)		
創業	1921(大正10)年9月1日～創業90周年		
代表者	代表取締役社長 渡邊武雄	発行済株式数	21,381千株 (自己株式を含む)
本社所在地	大阪市西区西本町 1-13-25	株主数	3,188名
資本金	56億92百万円	従業員数	連結 1,012人 単独 780人
連結売上高	1190億21百万円 <11年3月期>		
事業内容	電機・電子の商品、システムを販売する技術商社		
事業所	支社:東京、名古屋 支店:11 営業所:5 物流センター:1		
グループ企業	連結子会社:国内 7社、海外6社(シンガポール、香港、台湾、上海、韓国、タイ) <11年5月>		

[2011年3月末現在]

事業ドメイン/事業内容



FAシステム事業

モーターや遮断機などの電気機器。インバータやPLC、サーボなどのFA機器。放電加工機やレーザー加工機などの産業機械。各産業の生産ラインの自動化・合理化システムの構築。

半導体デバイス事業

規格品からユーザー仕様までニーズに合わせた半導体製品や電子デバイス。さらにマイコン・ASICやカスタムLSIの設計開発。またEMSビジネスを展開。

情報通信事業

コンピュータ、通信、映像の3分野を主に情報ネットワークを形成するシステムや通信機器・映像機器・各種パソコン・シンクライアントシステムを販売

施設事業

工場やオフィスビル・店舗における照明・空調・エレベーターなどの昇降機、防災設備機器。また省エネに優れたオール電化製品を販売。

ソリューション事業

技術商社として培ってきた技術力を結集して工場などにおける省エネ・環境・安全・効率性といった要素を含めた複合的なシステム案件や太陽光発電を販売。

海外事業

主に中国を中心としたアジアに半導体、FA機器・産業機械の販売並びに電子部品関連材料や各種金属加工品の貿易業務。

2011年3月期決算総括①

【業績の概況】 * 大幅な増収増益

FA機器(インバータ、サーボ、PLC) ~ 半導体・液晶・LED・自動車関連製造装置

メーカー向け好調

半導体(マイコン・パワー素子)

~ カーエレクトロニクス機器や家電向けにマイコン・

専用IC好調、エアコン用パワー素子大幅伸長

* 大幅利益増要因 ◆市場の急回復 ◆販売管理費の全面的な見直しの継続

◆CAPUPの活動が定着

新規顧客の開拓、利益率の高い細かい商売を積み重ねた成果

【連結業績ハイライト】

(単位:百万円)

主要科目	2010年3月期	2011年3月期	増減額	前期比	主な要因
売上高	96,838	119,021	22,182	122.9%	-
売上総利益	11,887	15,420	3,532	129.7%	売上総利益率 13% (0.7%改善)
営業利益	1,036	2,956	1,919	285.2%	-
営業外収益	509	854	344	-	負ののれん償却額 505百万円
経常利益	1,344	3,541	2,197	263.4%	-
特別損失	46	329	282	-	投資有価証券評価 損255百万円
当期純利益	815	2,090	1,275	256.4%	-

2011年3月期決算総括②

【連結／個別業績】

(単位:百万円)

主要科目	連 結	個 別	個別比率(%)
売 上 高	119,021	102,994	86.5
売上総利益	15,420	13,254	86.0
営業利益	2,956	2,743	92.8
経常利益	3,541	2,795	78.9
当期純利益	2,090	1,419	67.9

2011年3月期決算総括③

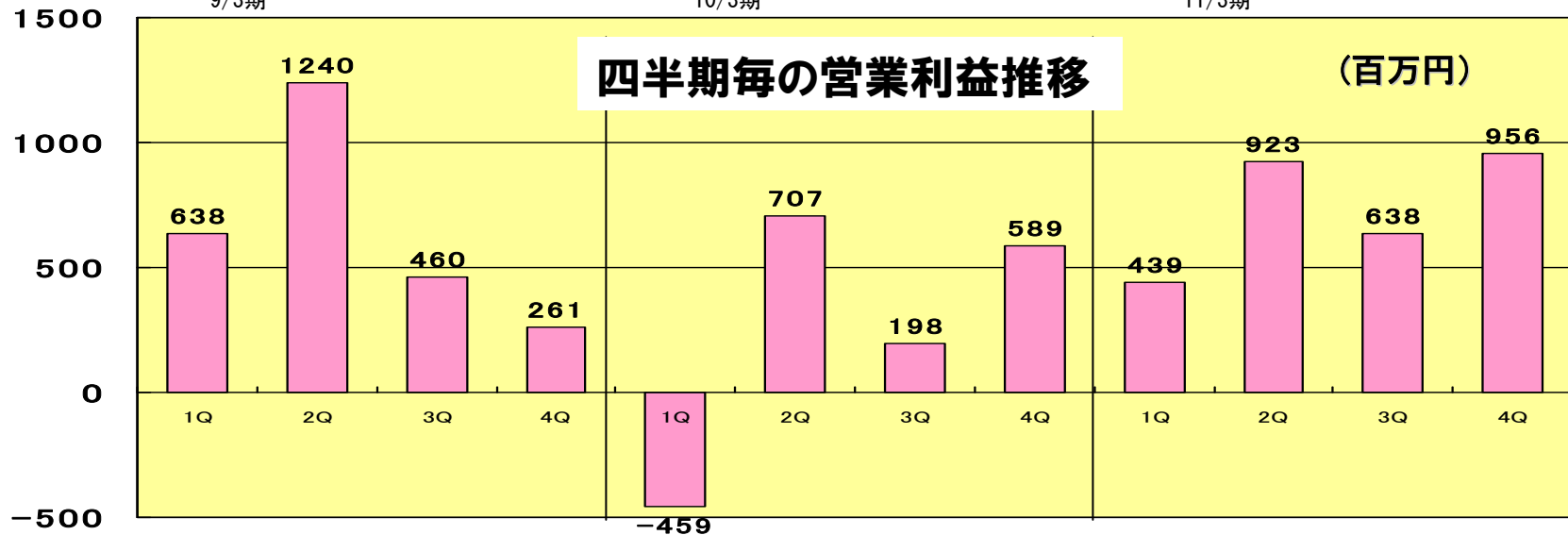
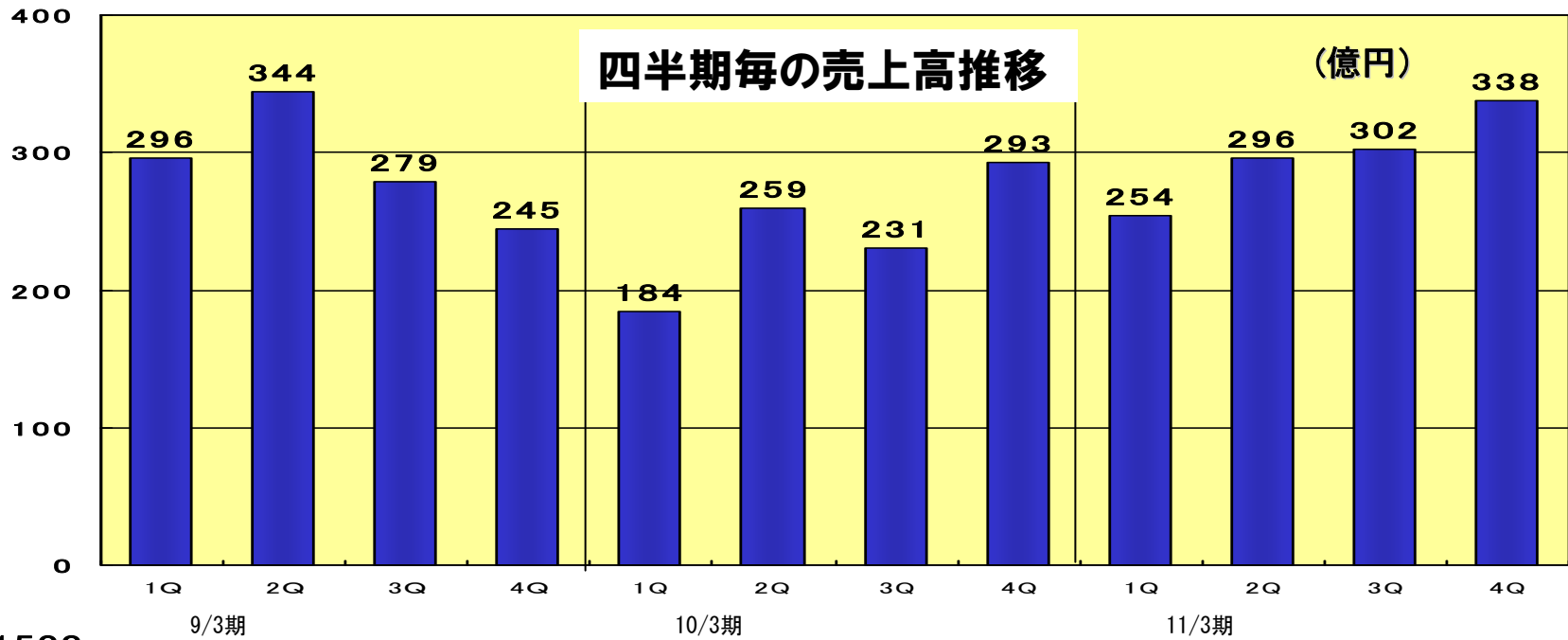
【セグメント別 売上高/営業利益(連結)】

(単位:百万円)

セグメント	2010年3月期			2011年3月期			前期 増減率(%)	
	売上高	構成比 (%)	営業 利益	売上高	構成比 (%)	営業 利益	売上高	営業 利益
F A システム	44,627	46.1	437	55,680	46.8	1,835	+24.8	+320
半導体デバイス	34,036	35.1	759	42,671	35.9	1,202	+25.4	+58
情報通信	4,404	4.5	△125	4,806	4.0	△222	+9.1	-
施設	10,288	10.6	140	12,189	10.2	243	+18.5	+74
ソリューション	476	0.5	△206	746	0.6	△165	+56.6	-
貿易	3,004	3.1	30	2,927	2.5	63	△2.6	+106
合計	96,838	100.0	1,036	119,021	100.0	2,956	+22.9	+185

セグメントのうち「貿易」につきましては、当第3四半期までは「海外事業」の名称で表示しておりました。

四半期連結業績の推移



財務状態

(資産の部) (平成23年3月31日)

流動資産合計	62,207
現金及び預金	13,129
受取手形及び売掛金	37,695
商品	7,611
その他	3,772
固定資産合計	12,186
有形固定資産	3,778
無形固定資産	350
投資その他の資産	8,057
(内) 投資有価証券	6,997
その他	1,060
資産合計	74,393

(負債の部) (単位:百万円)

流動負債合計	35,287
支払手形及び買掛金	28,896
短期借入金	2,398
その他	3,993
固定負債合計	3,836
長期借入金	771
退職給付引当金	678
負ののれん	1,884
その他	503
負債合計	39,124
(純資産の部)	
株主資本合計	34,816
資本金	5,692
資本剰余金	5,571
利益剰余金	24,048
自己株式	△495
その他の包括利益累計額合計	388
少数株主持分	64
純資産合計	35,269
負債純資産合計	74,393

1. 32ヶ月

0. 77ヶ月

借入金 3,169百万円
= 0. 32ヶ月

大電社TOBIによるもの

自己資本比率
47. 3%

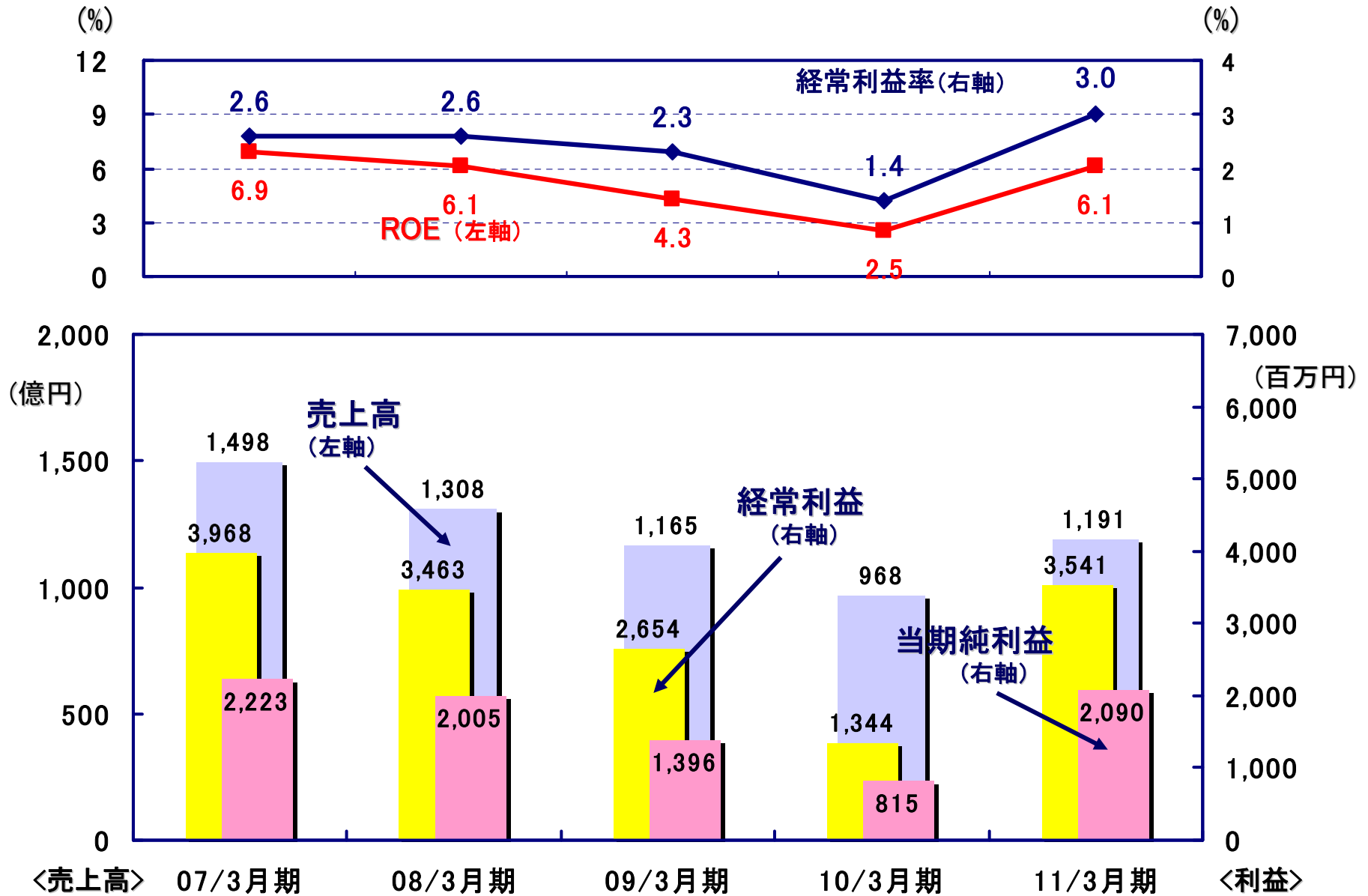
【業績の概況】 昨年4月に完全子会社化

***経営改善が進み、上期は実質的には黒字転化。下期は営業黒字化。
来期は予定通り黒字化見込み。**

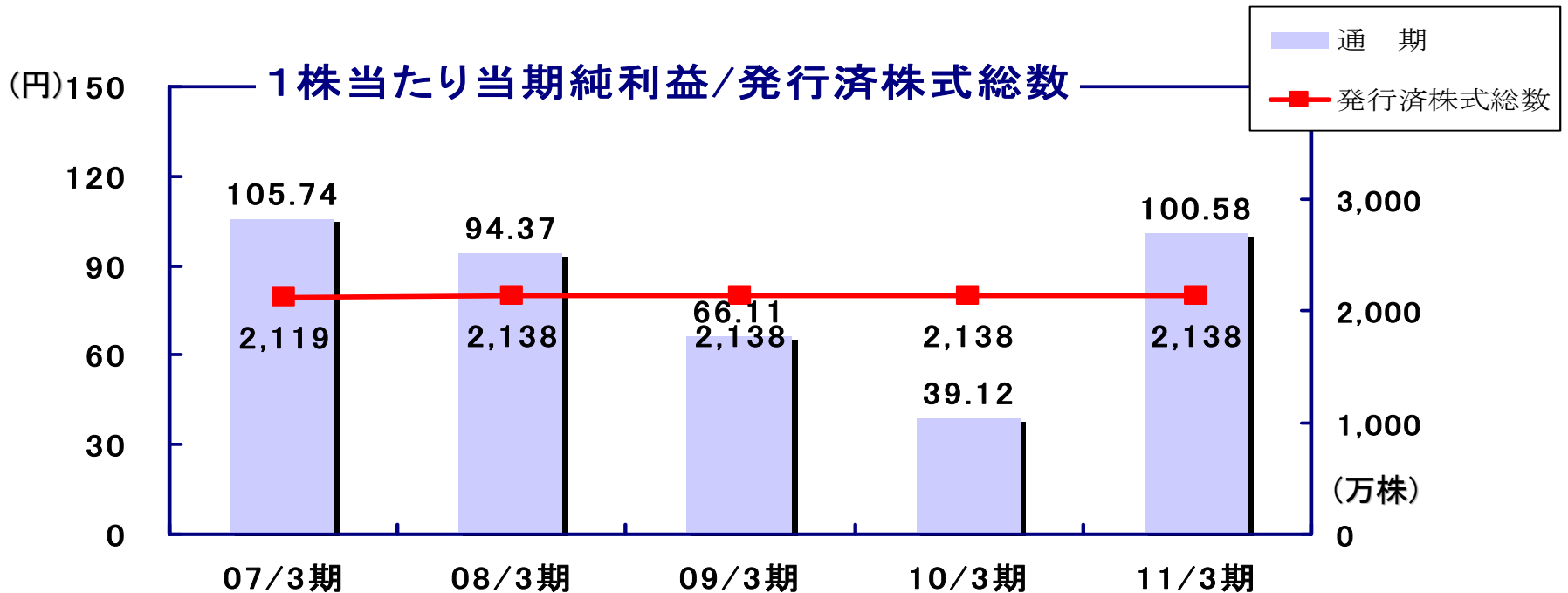
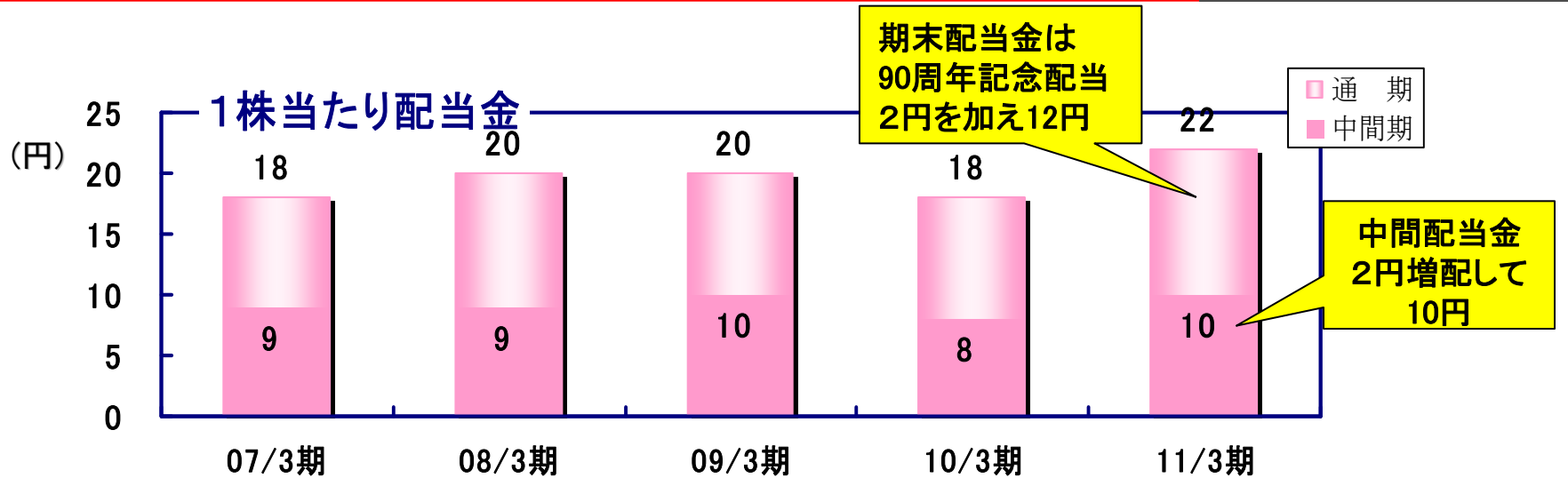
(単位:百万円)

主要科目	2011年3月期 上期	2011年3月期 下期	2011年3月期 通期
売上高	2,726	2,700	5,426
売上総利益	405	376	782
総費用	533	337	870
* 経営改善費用	183	10	193
〔 コンサル費用 〕	〔 120 〕	10	〔 130 〕
〔 退職関連費用 〕	〔 63 〕	0	〔 63 〕
税引前利益	△128	39	△88

連結業績の推移



1株当たり指標



震災後遺症から立ち直る年度にしたい

- 商社としての原点的な社会的役割を果たす
『商品販売してお届けすること』
- 創業90周年
- 海外ビジネスの強化（特に中国）

企業の海外シフトが加速化

日系のシフト企業中心



日系及びローカル市場
に注力

★上海にFA(産メカ)担当の執行役員を派遣
日系/ローカルの市場開拓を本格展開

<景況>

●売上:2008年のリーマンショック以前の対比で90%まで回復

➡ あと10%を取り戻す

●《東日本大震災の影響》

ルネサス製品の供給不足による影響

➡ 5~6月ピークとなるが通期ではカバーできる見込み

★ 代替品を提案するなど知恵の限りを尽くす

★ 供給体制が回復するまでの機会損失を最小限に食い止める

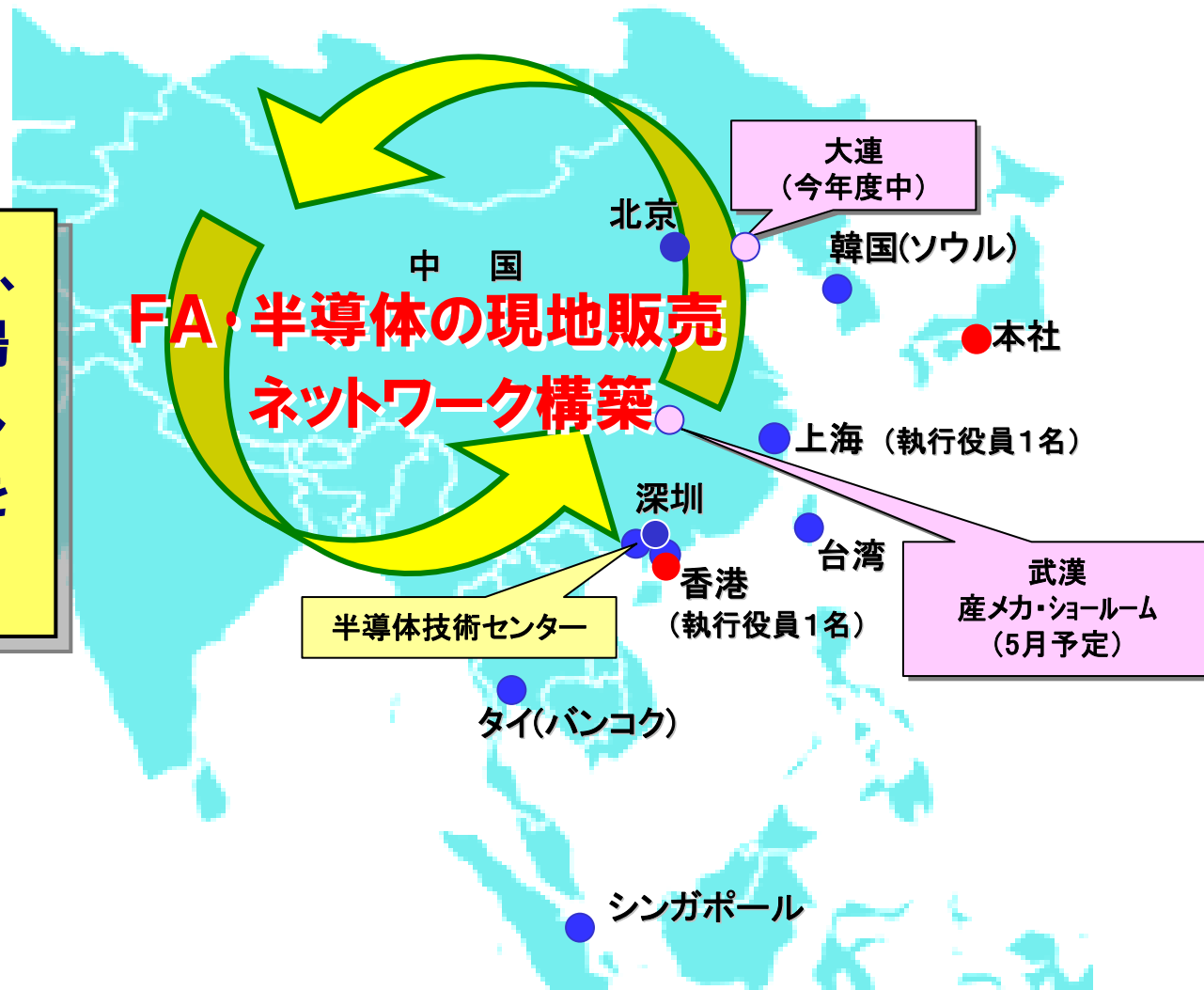
★ サービス提供なども含め独自の技術力を駆使する

(1) 中国への積極的な事業展開

日系企業への半導体販売に加え現地企業に対するFA製品の販売を拡大

今年、東北、華北、華中、華南に地場の提携先を確保し販売ネットワークを構築。

FA・半導体の現地販売
ネットワーク構築



海外事業売上高

(単位:百万円)

事業分野 (セグメント)	2009年3月期		2010年3月期		2011年3月期		前期比 (%)
	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	
FAシステム	644	4.7	520	4.2	1,175	7.8	226.0
半導体デバイス	9,343	67.6	8,744	71.3	10,927	72.7	125.0
貿易	3,829	27.7	3,005	24.5	2,927	19.5	97.4
合計	13,816	100.0	12,268	100.0	15,029	100.0	122.5
海外事業売上比率	11.9%	-	12.7%	-	12.6%	-	-

***海外事業売上高 = 海外子会社 + 貿易**

(2) 新事業の育成とグループシナジーの追及

◆ 工事・サービスができる技術商社を目指す

工事会社の再編による子会社:(株)立花宏和システムサービスのエンジニアリング能力の底上げと事業領域を広げグループとして質の高い工事・サービスを提供



+ 技術力

◆ ソリューションビジネスの強化と環境エネルギービジネスの推進

「省エネ・環境・安全・効率性」の複合ニーズに対応した総合的ソリューションを提供 と クリーンエネルギー分野の需要の開拓と導入支援に加え建物構造も含めたトータルシステムの設計

◆ 連結シナジーの強化

国内外の子会社の経営資源を有効に相互活用することによりグループとしてのシナジー効果を追及

- ・5月、販売子会社を経営統合して新生の(株)太洋商会として再出発
- ・昨年、完全子会社化した(株)大電社の大いなる活用

(3) 徹底した営業力強化と体質改善の推進

◆ 体質改善プロジェクト「C.A.P. UP1500」の継続推進

社員一人ひとりが実行力、実現力を高めることで組織として最大の力を発揮できるよう取り組む

◆ 人間力の醸成から知識研修まで 総合的な人材育成

南大阪ビル
(立志館)



2012年3月期(83期)業績計画

業績計画(連結)

(単位:百万円)

主要科目	2011年3月期	2012年3月期計画	前年比(%)
売上高	119,021	125,000	105.0
営業利益	2,956	2,800	94.7
経常利益	3,541	3,430	96.8
当期純利益	2,090	2,150	102.9
1株当たり年間配当金	22(円)	20(円)	—
1株当たり当期純利益	100.58(円)	103.47(円)	—

* 売上高の内

海外事業売上高	15,029 (12.6%)	17,100 (13.7%)	113.8
---------	----------------	----------------	-------

* ()は全体に占める割合

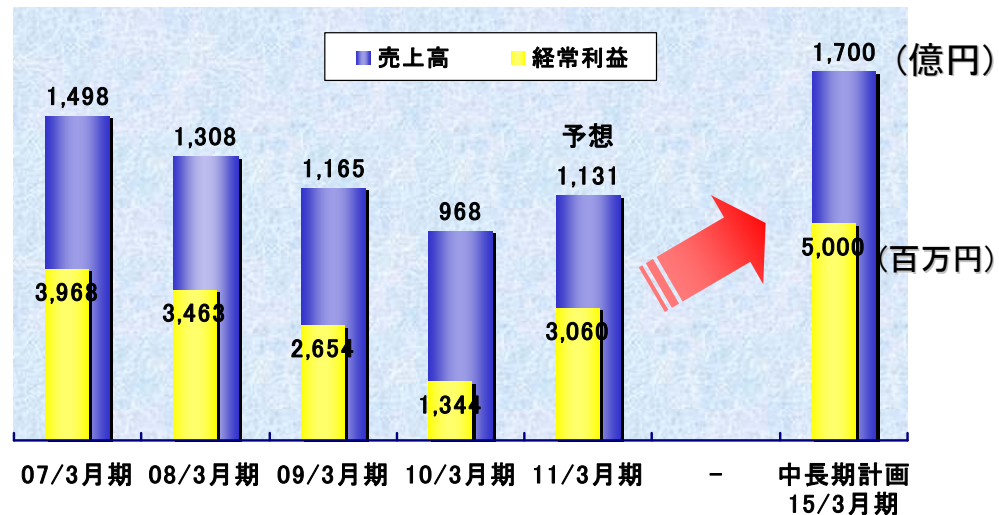
2015年3月期を見据えた中長期ビジョン『GT21』

◆ 経営目標数値（2015年3月期）

売上高 1,700億円

経常利益 50億円

海外事業売上比率
30%以上



◆ 基本方針

- ・中国を含むアジア市場におけるビジネスの拡充とローカル化の推進
- ・成長市場への参入と顧客ニーズに即したビジネス展開
- ・企業グループとしての総合力の発揮と事業領域の拡大
- ・「C.A.P.UP1500」プロジェクトの継続推進による販売力の強化

**ご清聴いただき、誠にありがとうございました。
今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。**

**お問い合わせ先
(株)立花エレテック 総務部 広報・株式課**

Tel: (06)6539-2718 Fax: (06)6539-8821

<http://www.tachibana.co.jp/>

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。